

記入日：2019/11/17

R1年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	応用地質株式会社
ソフトウェア名/Ver.	GEO-CRE/Ver1.2
適用分野	地質・土質※
適用フェーズ	調査、設計、施工、維持管理

国交省			ソフトウェアの対応状況
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	R1年度の施策等	
1	必須項目	CIMモデルの作成・更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆形状で表現可能な様々な3次元地質・土質モデルを作成可能</li> <li>◆ボーリング・準3次元図面・サーフェス・ソリッドモデルの作成に対応</li> <li>◆ボクセルモデル作成は非対応（OCTAS Modelerを使用）</li> </ul>
2		属性情報の付与	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外部属性はOCTAS Modelerの属性情報管理機能を使用した属性付与で対応可能</li> <li>◆内部属性はプラグイン（VisualARQ）使用でIFC2x3の入出力に対応可能</li> </ul>
3		CIMモデルの照査	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆一部対応（対応状況をサポートホームページで公開）</li> </ul>
4		CIMモデルの納品	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆独自のデータ管理機能を搭載</li> <li>◆納品用のGEOLOGICALフォルダ・データ作成機能を搭載予定</li> </ul>
1	必須項目	段階モデル確認書を活用したCIMモデルの品質確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆対応検討中</li> </ul>
2		情報共有システムを活用した関係者間における情報連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆フリーの3次元ビュー（OCTAS Manager）を用いて3次元地質・土質モデルの情報共有が可能</li> </ul>

国交省			
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	R1年度の施策等	ソフトウェアの対応状況
3	後工程における活用を前提とする属性情報の付与	CIMガイドラインに固執せず、事業ごとの特性から追加すべき属性情報を検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆OCTAS Managerの属性管理機能を利用し、3次元地質・土質モデル作成に用いた地盤情報の品質を記録することが可能</li> <li>◆地質リスク情報を3次元地質・土質モデル上に3Dアノテーションとして表示可能</li> </ul>
4	工期設定支援システム等と連携した設計工期の検討	「設計施工間の情報連携のための4次元モデルの考え方」を参考に施工ステップに沿ったCIMモデルを構築する	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆調査・設計・施工のフェーズに応じて、段階的に3次元地質・土質モデルの信頼性を向上させることは可能</li> <li>◆利便性の向上に向けた対応を検討中</li> </ul>
5	CIMモデルを活用した工事費の算出	CIMモデルから数量を算出するとともに、算出された数量に基づく概算事業費の算出を行う	◆土量算定のみ可能
6	契約図書としての機能を具備するCIMモデルの構築	契約図書としての要件を備えたCIMモデルを作成し、3次元モデルと2次元図面との整合性について確認する	◆OCTAS Managerを用いた3次元地質・土質モデルの納品により、入力データ・3次元モデル・地質リスク情報を一体で継承し、設計図書を支援することが可能
7	CIMモデルを活用した効率的な照査	3次元モデルと属性情報に基づき、効率的な照査を実施する	◆3次元CADの基本性能を用いて、3次元地質・土質モデル形状の照査が可能
8	施工段階におけるCIMモデルの効率的な活用方策の検討	CIMモデルを用いた仮設計画、施工計画を行い、出来型管理を検討、実施する	◆施工情報を用いて3次元地質・土質モデルの更新に対応可能